

桃豚は私達が育てています



完熟堆肥・生物活性水を活用しての野菜作り

今年は有機農業の基本である土作りに重点を置き、4.2haの農地でニンジン、きゅうり、インゲン、辛味大根の4品目を栽培しました。

どの作物にも自社の完熟堆肥を使用し、**生物活性水**は堆肥散布と併せ圃場へ散布することにより、**堆肥の効力を増進**させることができました。また、きゅうりの苗を生物活性水の200倍液に浸してから定植すると**根の発育がとても良くなるなどの効果**も得られました。

しかし、有機での野菜作りは今年も自然(気候)との戦いでした。定植直後のきゅうりは6/13に大粒の雹(ひょう)が降り葉に穴があいたり茎を傷つけられたり、ニンジン畑では種まき直後の20aが7/28の大雨により流されたうえ、生育途中の10aが冠水してしまい、腐ってしまいました。それに追いつき打をかけるかのようにお盆過ぎの約1週間低温が続き、きゅうりに黒星病が蔓延してしまい、例年より一ヶ月早い収穫終了を余儀なくされました。

お天道様との“にらめっこ”も人間の力では太刀打ちできず、有機での野菜栽培の難しさ・自然の厳しさを実感しております。

そんななか販売のメインであるニンジン・きゅうりは首都圏の有機農産物を扱う取引先へ出荷したほか、地場でも自社宅配サービスの「桃豚の会」を通じ、販売致しました。

ニンジンは食味も良く、きゅうりも漬け物や加熱しても皮がパリッとして美味しいなどの評価もいただきました。



ポークランドグループではバイオベット(踏み込み発酵床)豚舎でのアニマルウェルフェア(動物福祉)管理による、豚にとって快適で健康に育てる試みを平成16年より継続しています。

400頭から1.5倍の600頭へスケールアップ!

当グループのバイオベット飼育の特徴として、①**床材はグループ内の糞尿処理を行う小坂クリーンセンターで製造される完熟堆肥を利用することでリサイクルの推進**、②**完熟堆肥に含まれる微生物の力により排泄される糞尿を発酵処理されることによる処理コストの軽減**や、③**臭気を抑制する効果**、などが挙げられます。

昨年までは仕切りのない豚舎で400頭の飼育でしたが、今年は1.5倍の600頭にスケールアップしてバイオベットでの豚の飼育がスタートしました。バイオベットでの飼育担当は初めてだったため期待と不安が入り混じっておりましたが、豚舎へ導入後すぐに堆肥の上でお互いジャレあって走り回ったり、鼻で穴を掘ったりなど、自然的な動きをする豚たちを見て本来の野性的な行動を目の当たりにし、感動の連続でした。

さすがにワンフロアに600頭と今までに経験の無い頭数で管理は大変でした。自分が中に入ると、豚達が足下に寄ってきてはスキニップのツナギを“カミカミ”され、かなりの人気者!?です。

普通の豚舎とは違う広い所で育っているせいか、ケンカやイジメがほとんど見られないのもバイオベットでのメリットかもしれません。広いところでストレスもなくスクスク育ってくれれば豚も人も幸せだと思います。

とは言っても課題もたくさんあります。今後はバイオベットの床材として堆肥だけにこだわらず、おが屑やもみ殻など色々なものでチャレンジして桃豚がもっと快適に過ごせる環境作りに活かしていくたいと思います。

バイオベット担当(技術開発室)山口 繁彦



▲平成20年10月29日
小坂小学校5年生
32名が校外学習視察

総勢14名の新入社員が入社しました。

平成20年

毎日が勉強だと思って頑張っていきたいと思います。
十和田湖高原ファーム 繁殖部 賀川獎 (19歳) H20年4月入社

少しでも早く、一人前になれる様一生懸命頑張ります。
ファームランド 繁殖部 船水楨悟 (19歳) H20年6月入社

皆さん方が育てた豚をけがさせないように運んで行きたく思います。
総務販売部 出荷担当 阿部勇樹 (31歳) H20年4月入社

新しいことにチャレンジし、自分を成長させていくよう頑張っていきたいと思います。
総務販売部 秋本育子 (26歳) H20年10月入社

先輩方のアドバイス等を良く聞き、日々向上していくよう頑張っていきたいです。
十和田湖高原ファーム 育成部 嶋山伸吾 (19歳) H20年4月入社

毎日の作業の一つ一つが勉強になります。これからも安全でおいしい桃豚を育てていきたいです。
ファームランド 分娩部 児玉晴香 (18歳) H20年5月入社

みんなが集まって来たいと思えるごももを目指して頑張っていきたいです。
桃豚直売所「ごもも」 池田智美 (29歳) H20年5月入社

明るく元気に仕事を頑張りたいと思います。
桃豚直売所「ごもも」 湯瀬千賀子 (38歳) H20年6月入社

みんなに愛されるお店を目指します!
桃豚直売所「ごもも」 佐々木和也 (19歳) H20年4月入社

作業が細かくまだ出来ない作業もあるので先輩方に迷惑をかけないよう頑張っていきたいです。
十和田湖高原ファーム 分娩部 兎澤大輔 (21歳) H20年4月入社

明るく元気に仕事を頑張りたいと思います。
桃豚直売所「ごもも」 佐藤瑛理 (19歳) H20年6月入社

みんなに愛されるお店を目指します!
桃豚直売所「ごもも」 近藤栄進 (35歳) H20年6月入社

仔豚達に愛情を注ぎ、元気な豚を育てていきたいです。

平成20年度 会社内の主な出来事

ポークランドグループがテレビで取り上げられました!!

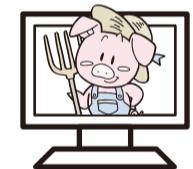
平成20年11月2日

NHK

産地初
「食べ物一直線」



平成21年2月12日
AAB
スーパーJチャンネル
「あきたビジネス羅針盤」



主な受賞

ちくさんクラブ21
2008年8月号掲載▶

平成20年6月3日
ポークランドグループが農商工連携88選を受賞
(秋田県内で唯一の受賞)

平成20年8月
<キリンビール>
選ぼう!日本のうまい2008
キャンペーンで桃豚が秋田県代表の賞品として選出

平成20年9月17日
ポークランドグループがICタグを活用した世界初!の養豚トータルトレセバリティーシステムを発表

平成21年2月19日
十和田湖高原ファームが東北IT経営オピニオンリーダー賞を受賞

平成21年2月25日
十和田湖高原ファームが中小企業IT大賞で優秀賞を受賞
(農業分野では唯一の受賞)

平成20年度の主な行事

- 4月5日 ジャーナリスト櫻井よしこさん視察
- 4月9日～11日 食肉通信社主催 食肉産業展へ
- 4月18日 鹿角市社会人野球大会でポークランド野球部が準優勝 (東京ピックサイト)
- 5月18日 パルシステム生産者会 北海道東北ブロック会議を開催
- 5月26日～27日 日本政策金融公庫主催 アグリフードEXPOへ
- 6月11日 パルシステム神奈川県大会でポークランド野球部が優勝
- 6月24日～25日 小坂町社会人野球大会で開催
- 7月4日～5日 消費者協議会 北海道東北ブロック会議を開催
- 7月24日～25日 パルシステム生産者会 北海道東北ブロック会議を開催
- 8月26日～27日 日本政策金融公庫主催 アグリフードEXPOへ
- 9月11日 パークランドごめ豚協議会設立総会
- 9月17日～24日 パルシステム各会員社員3名が田沢湖マラソンフルマラソン完走
- 9月21日 第3位入賞 第38回小坂町駅伝大会で
- 10月11日 国産飼料用米(秋田吉野産)を添付した配合飼料を給与開始 (飼養頭数3500頭)
- 11月1日～13日 飼料用米添加の飼料を給与した豚の出荷開始(～4月上旬まで)
- 11月13日 桃豚直売所「ごもも」オープン
- 11月21日～23日 B M W 技術全国交流会において地元小坂町における地域循環型農業農村構想について発表